

# 漁業を担う新しい力!

## ふくい水産カレッジとは…

福井県新規漁業就業者支援協議会が実施しているプログラムで、県内で漁業・養殖業に就業を希望する人が対象となります。東京や大阪で開かれる漁業就業フェアや県内ハローワークなどで募集、相談を行っている、希望者は、短期研修での漁業体験などを経て、水産カレッジの入学を決めます。入校者には、漁業の基礎を習得してもらうため、就業前に1年間の研修を行います。また、研修生は就業前だけでなく、就業後も定着支援金などの支援も受けられます。

平成27年度から始まったふくい水産カレッジの入校生は、今年で12人目となりました。



## 漁業就業フェア

令和元年7月、漁業の担い手確保のために、大阪マーチャングイズ・マーケットと池袋サンシャインシティで開かれた漁業就業フェアに越前町も参加しました。先輩漁師として古田涼さん、桑原佑基さんも加わり、漁師の仕事や越前町の暮らしについて、来場者に力説してくれました。



▲左から金城さん、棚橋さん、青山さん

3人は今年3月に高校を卒業後、漁師になるために、越前町厨にある漁業研修生専用住宅で共同生活をしながら、漁業を行っています。水産カレッジの入校は9月頃を予定しています。



### 入校にあたって

**青山さん** 一日でも早く先輩漁師のみなさんに追いつけるように、そして、自分の夢の実現に向けてがんばりたい

**棚橋さん** まだまだ分からないことばかりだけど、日々精進して一人前の漁師を目指したい

**金城さん** 不安な事が多いが、同世代の仲間たちと共に乗り越え、越前町の漁業を次の世代に残したい



平成31年4月にふくい水産カレッジ漁船就業コースに入校した木村龍二さんが1年間の漁業実習と座学研修を終え、梅宝丸に就職しました。

1年間の経験を生かして、早く一人前の漁師になれるようがんばります!

### 越前町漁業協同組合から一言

厳しい仕事だが、県外の意欲のある若者が漁師を志し、移住を決めてくれるのが一番ありがたい。行政と漁業者が連携して受入れ態勢を整え、その効果が出てきている。

漁業の担い手確保はもちろんのこと、若者が越前町に定住することで人口減少に歯止めがかかれば嬉しい。

越前町漁業協同組合 代表理事組合長 小林 利幸

問合せ先 就労支援室 ☎ 34-8705